



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 アライドアーキテクト株式会社
代表者名 代表取締役会長 田中 裕志
(コード番号：6081 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 財務経理部長 水野 智博
(TEL 03-6408-2791)

第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ

当社は、2025 年 11 月 14 日（以下「発行決議日」といいます。）開催の取締役会決議において、株式会社 ZUU（以下「ZUU」といいます。）、株式会社 MFTrustLead（以下「MFTrustLead」といいます。）、高桑昌也（以下「高桑氏」といいます。）、Tan U -Ming（以下「Tan 氏」といいます。）、吉田直人（以下「吉田氏」といいます。）、西川中（以下「西川氏」といいます。）、渡邊涼一（以下「渡邊氏」といいます。）、大久保義春（以下「大久保氏」といいます。）、村田啓（以下「村田氏」といいます。）、寺田航平（以下「寺田氏」といいます。）、森和孝（以下「森氏」といいます。）、個別に又は総称して「割当予定先」といいます。）を割当予定先とする第三者割当増資（以下「本第三者割当増資」といいます。本第三者割当増資により発行される株式を「本新株式」といいます。）を実施することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本第三者割当増資の概要

(1) 払 込 期 日	2025 年 12 月 1 日
(2) 発 行 新 株 式 数	当社普通株式 1,651,200 株
(3) 発 行 価 額	1 株につき 191 円
(4) 調 達 資 金 の 額	315,379,200 円
(5) 募集又は割当方法	第三者割当の方法により、以下の通り当社普通株式を割り当てます。 株式会社 ZUU：261,700 株 株式会社 MFTrustLead：157,000 株 高桑昌也：157,000 株 Tan U -Ming：91,600 株 吉田直人：157,000 株 西川中：261,700 株 渡邊涼一：261,700 株 大久保義春：104,700 株 村田啓：157,000 株 寺田航平：20,900 株 森和孝：20,900 株
(6) そ の 他	上記各号については、金融商品取引法による届出書の効力が発生していることが条件となります。 その他本新株式発行に関し必要な事項は、当社代表取締役会長に一任します。

2. 募集の目的及び理由

当社はマーケティング AX 支援事業を主力としており、AI や Web3 等の技術進展により、企業のマーケティングは戦略―実装―運用―計測を一体で再設計する局面にあると認識しています。当社も上流からの価値提供体制を強化しており、その過程で、暗号資産／ブロックチェーンは、オンチェーン・データの活用、インセンティブ設計、越境の少額決済・報酬分配等において企業実務に資する手段となり得ると判断しています。

【本新規事業の定義（クリプト領域イネーブラー事業）】

本新規事業（以下「クリプト領域イネーブラー事業」といいます。）とは、日本企業が BTC・アルトコイン・ステーブルコイン及びブロックチェーン技術等（いわゆる「クリプト」）を、安全かつ実務可能な形で導入・活用できるよう、(1) 目利き〔ユースケース／技術選定〕、(2) コンサルティング〔業務・統制設計〕、(3) 実装伴走〔システム開発／データ連携〕、(4) 運用立上げ支援〔手順・教育・監査対応〕を一体で提供し、導入後の価値創出（業務生産性・費用対効果・データ活用）の最大化まで伴走する B2B ソリューション事業をいいます。当社は導入支援・関連システム提供を主眼とし、当社自らが暗号資産の交換・保管等を業として提供する計画は現時点ではありません。

本新規事業は「既存 IT の置換」ではなく、暗号資産の活用によって実現容易となる要件を満たすことで費用対効果と業務生産性の同時改善を目指すものです。主な価値仮説は以下のとおりです。

1. 24 時間 365 日かつ国境横断の小口決済

ステーブルコイン（法定通貨と価値連動する暗号資産）を活用することで、少額・高頻度・多国籍の支払いや報酬分配を短時間・低コストで実行可能。既存の国際送金網（休日停止・中継銀行経由）ではスピードとコストの同時最適化が難しい領域の効率化が見込めます。

2. プログラマブルな分配・制御

スマートコントラクトによる自動分配／条件付与（上限・ロック・譲渡制御・ホワイトリスト等）を業務ルールとして組み込み、手作業の統制コストと締め処理のリードタイムを削減します。

3. 真正性・監査可能性（改ざん困難な証跡）

取引と残高をオンチェーンに一貫記録し監査ログとして再利用できるため、内部統制・会計監査の要件定義が明確になり、決算処理・照合作業の負荷軽減に資します。

4. 相互運用性（Interoperability）

世界で広く使われる共通の規格に合わせてトークンやウォレットを設計することで、他社システムともつながりやすく、将来の入替えや機能追加にも対応しやすい構成とします。これによりベンダー依存を抑え、小規模導入で効果を確認しながら段階的に利用範囲を広げる投資が可能になります。

5. マーケティングとの統合価値

ウォレットを新しい顧客接点と位置付け、会員・リワードや UGC/VOC データと双方向連携することで、施策実行→効果計測→改善のサイクル短縮を図り、当社の強みである戦略～実行の一体支援に自然接続します。

以上を踏まえ、当社は企業がクリプト（暗号資産・ステーブルコイン〔電子決済手段〕及びブロックチェーン技術の総称）を活用するための導入支援及び関連システムの提供（イネーブラー）を中核とする本新規事業の立上げを推進します。本第三者割当て調達する資金は、研究開発、実装テンプレート化、運用立上げ支援等に充当し、安全性・コンプライアンスを重視したエンタープライズ水準の提供体制を構築することで、中長期的な企業価値の向上を図ります。なお、本第三者割当て増資により調達する資金は暗号資産の購入に充当いたしません。

当社は、既存事業との相乗効果により既存事業の更なる成長に資し、併せて収益性の高い新たな事業の柱を早期に確立するうえで重要な経営上の施策として位置付けております。しかしながら、直近の業績進捗は、期初予想に対し想定より時間を要しており、加えて不適切会計への対応に伴う調査費用等の一時費用（729 百万円を特別損失等として計上）の発生により、自己資本の補強および手元流動性の確保が必要な状況にあります。

このため、当社は本新規事業の趣旨に賛同する有識者等を割当予定先とする第三者割当増資によるエクイティ調達を実施し、当該資金は本新規事業の早期立上げに直接必要な活動に限定して充当し、機動的かつ集中的に推進することとしております。

【規制・会計・運用上の取扱いに関する方針】

本新規事業は導入支援・システム提供に主眼を置くものであり、当社自らが暗号資産の交換・保管等（登録が想定される行為）を業として提供する計画は現時点ではありません。もっとも、技術検証や決済機能の実装過程で暗号資産の限定的な取扱いが必要となる可能性はあり得るため、その際は社内規程の整備、リスク管理、会計・税務・コンプライアンス適合の枠組みを前提に、取締役会の承認を経て、適用基準に従い適時開示のうえ慎重に判断します。

当社は、東証グロース市場の上場維持基準（時価総額）について一定期間適合基準を下回る状況が生じたことから、2025 年 3 月に適合計画を公表し、事業構造転換及びガバナンス強化等の取組みを進めております。本新規事業は、プロダクト中心からソリューション中心への転換、上流から実行までの一体支援（いわゆる「三層支援」）の推進、国内集中によるコスト統制といった当社方針と整合し、顧客案件の単価・継続率の向上や当社のデータ/AI 資産の活用領域の拡張を通じて収益基盤の強化を図り、適合計画の達成に資することを目指します。

割当予定先は、暗号資産・Web3 領域における投資・事業・技術・コンプライアンス・会計の知見を有する有識者で構成されています。当社は、必要に応じて一般的な助言・情報提供を受ける場合がありますが、現時点で資本業務提携、共同事業契約、または独占・優先的取引関係の締結について具体的な合意はありません。将来については、個別案件ごとに通常の商慣行と当社の独立した判断に基づき協働の機会を検討する可能性があります。当社は自社の責任において本新規事業を推進し、必要に応じ適切に開示します。

さらに、将来的な選択肢として、規制・会計・税務等の要請及び当社のリスク管理方針、事業戦略を総合的に勘案のうえ、デジタルアセット活用を含む事業連携・財務戦略の在り方を継続的に検討してまいります。あわせて、事業開発・検証・運用の過程で技術的要件又は取引実務上の要請に照らして必要と認められる場合には暗号資産の取扱いについて検討する可能性があります。本第三者割当増資により調達する資金は暗号資産の購入に充当いたしません。その際は、社内規程の整備、リスク管理、会計・税務・コンプライアンスへの適合等の枠組みを前提に、取締役会の承認を経て、適用基準に従い適時開示します。現時点で具体的な実行計画や水準は決定しておらず、事業の必要性和ガバナンスを前提に慎重に判断します。

※イネーブラーとは、特定の機能やシステムを利用可能にするソフトウェア・技術またはその提供主体を指し、新たなサービスやビジネスモデルの実現を可能にする存在をいいます。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

払込金額の総額	315, 379, 200円
発行諸費用の概算額	18, 000, 000円
差引手取概算額	297, 379, 200円

(注) 1. 上記払込金額の総額は、本新株式の払込金額の総額であります。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、有価証券届出書作成支援費用、本新株式の発行に関する弁護士費用、信用調査の外部委託費用、登記費用等の合計額であります。
3. 発行諸費用の概算額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。

(2) 調達する資金の具体的な使途

本新株式の発行によって調達する資金の額は、上記のとおり約297百万円となる予定であり、調達する資金の具体的な使途については、以下のとおり予定しています。

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
クリプト領域におけるエンタープライズ向け導入支援及び関連システムの提供（イネーブラー）に係る事業開発投資	297	2026年1月～2027年12月

（注） 調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理いたします。

本第三者割当による手取概算額は、クリプト領域におけるエンタープライズ向け導入支援及び関連システム受託開発に係る本新規事業の開発投資に充当いたします。充当期間は2026年1月から2027年12月までの24か月を主たる期間として、事業進捗に応じ段階的に実施・充当する計画です。

主要な充当対象（例示・順不同）は、以下のとおりです。

研究開発・プロトタイピング

受託開発・基盤機能整備（ホワイトレーベルの検討を含みます。）

人材採用・人件費

事業開発（アライアンス／Go-to-Market）

事業運営の基盤整備（クラウド等のインフラ、品質保証・監査対応、データ・保険・知財・法務 等）

各項目の具体的な配分・金額・支出時期は固定しておらず、PoC や顧客案件の進捗、外部環境、当社のガバナンス方針等を踏まえ、所定の社内承認手続きに基づき適宜決定いたします。重要な変更が生じた場合は、適用基準に従い適切に開示します。未充当資金は、充当までの期間、安全性・流動性を重視して当社名義の銀行預金等で管理します。

（執行体制・ガバナンス）

取締役会の監督のもと、(a) 投資執行承認、(b) 情報セキュリティ・個人情報保護、(c) 会計・税務・内部統制、(d) 規制・コンプライアンス、(e) 適時開示を所掌する横断的な運用体制を整備し、事前に定める決裁基準・執行ルールに沿って実施します。進捗及び外部環境に応じて個別項目の配分・時期を見直す場合があります、その際も上記方針に従い、重要な変更が生じた場合は適切に開示いたします。

（リスク記述・要点）

制度・会計・税務の変更、技術的・セキュリティ上の不確実性、人材採用・育成の難易度、需要変動等のリスクを認識しており、前記の体制整備、品質保証、保険等により低減を図ります。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

当社は、上記「2. 募集の目的及び理由」に記載のとおり、本第三者割当により調達する資金を、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2） 調達する資金の具体的な使途」に記載の資金使途に充当することで、中長期的な企業価値の向上を図ることができると見込んでおります。よって、当該資金使途は、当社の既存株主の皆様の利益に資する合理性があるものと考えております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本新株式の払込金額は、割当予定先との協議を踏まえ、本新株式の発行に係る取締役会決議の直前取引日（2025 年 11 月 13 日）の東京証券取引所グロース市場における当社普通株式の終値 212 円を基準とし、1 株 191 円（ディスカウント率 9.91%）といたしました。

上記発行価格は、発行決議日直近の市場価格であり、算定根拠として客観性が高く、かつ合理的である発行決議日の直前営業日の終値を基準とし、割当予定先である ZUU、MFTrustLead、高桑氏、Tan 氏、吉田氏、西川氏、渡邊氏、大久保氏、村田氏、寺田氏、森氏と協議のうえ決定しました。なお、当該払込金額 191 円につきましては、本第三者割当に係る取締役会決議の直前取引日（2025 年 11 月 13 日）までの直近 1 ヶ月間の当社普通株式の普通取引の終値の平均値 211 円（小数点以下を四捨五入。以下、平均株価の計算について同様に計算しております。）に対し 9.48%のディスカウント（小数点以下第 3 位を四捨五入。以下、株価に対するディスカウント率の数値の計算について同様に計算しております。）、同直近 3 ヶ月間の当社普通株式の普通取引の終値の平均値 219 円（小数点以下を四捨五入。以下、株価の計算について同様に計算しております。）に対し 12.79%のディスカウント、同直近 6 ヶ月間の当社普通株式の普通取引の終値の平均値 220 円に対し 13.18%のディスカウントとなっており、日本証券業協会の「第三者割当の取扱いに関する指針」に準拠したものであり、当社は、払込金額は、割当予定先に特に有利な金額には該当しないものと判断しております。

以上のことから、当社は、本新株式の払込金額の決定方法は、適正かつ妥当であり、本新株式の払込金額は、割当予定先に特に有利な金額には該当しないものと判断しております。この判断に基づいて、当社取締役会は、本新株式の発行条件について十分に討議、検討を行い、決議に参加した取締役全員の賛成により本新株式の発行につき決議いたしました。

また、当社の監査等委員会から、払込金額が、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであり、適法であり、「特に有利な発行価額」には該当しない旨の意見をいただいております。

（2）発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本新株式の発行による新規発行株式数は 1,651,200 株（議決権数 16,512 個）であり、2025 年 6 月 30 日現在の当社発行済株式総数 14,248,282 株及び総議決権数 141,970 個を分母とする希薄化率は約 11.59%（議決権ベース約 11.63%）となる見込みです。

そのため、本新株式の発行により、当社普通株式に一定程度の希薄化が生じることになります。

しかしながら、当社は、本第三者割当増資により調達した資金を上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」に記載した各資金使途に充当する予定であり、これは当社の企業価値の向上を実現し、売上及び利益を向上させるとともに、安定した業績の拡大に寄与するものであって、中長期的な観点から当社の既存株主の皆様の利益に貢献できるものと考えており、市場に過度の影響を与える規模ではなく、株主価値向上の観点からも合理的であると判断しております。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

①ZUU

①	名 称	株式会社 ZUU		
②	所 在 地	東京都港区麻布台一丁目 3 番 1 号麻布台ヒルズ森 JP タワー46 階		
③	代表者の役職・氏名	代表取締役 富田 和成		
④	事 業 内 容	フィンテック・プラットフォーム事業 ・インターネット広告事業 ・デジタルマーケティング支援事業 フィンテック ・トランザクション事業 ・経営コンサルティング事業 ・資産運用コンサルティング事業 ・M&A アドバイザリー事業		
⑤	資 本 金	8 億 7 千 9 百万円		
⑥	設 立 年 月 日	2013 年 4 月 2 日		
⑦	発 行 済 株 式 数	4,749,860 株		
⑧	決 算 期	3 月末日		
⑨	従 業 員 数	121 名（2025 年 3 月現在）		
⑩	主 要 取 引 先	非開示		
⑪	主 要 取 引 銀 行	三菱 UFJ 銀行、りそな銀行、みずほ銀行、三井住友銀行		
⑫	大株主及び持株比率	富田和成 50.62% 株式会社 ACN ホールディングス 9.00% 吉岡裕之 7.39% 赤羽雄二 2.72%		
⑬	当 事 会 社 間 の 関 係			
	資 本 関 係	該当事項ありません。		
	人 的 関 係	該当事項ありません。		
	取 引 関 係	該当事項ありません。		
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項ありません。		
⑭	最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期
	連 結 純 資 産	1,355,606 千円	4,921,310 千円	6,297,284 千円
	連 結 総 資 産	3,065,954 千円	9,329,536 千円	9,645,600 千円
	1 株当たり連結純資産(円)	264.89 円	255.44 円	278.19 円
	連 結 売 上 高	3,399,884 千円	2,899,531 千円	2,993,718 千円
	連 結 営 業 利 益	210,627 千円	115,011 千円	14,466 千円
	連 結 経 常 利 益	209,792 千円	126,142 千円	54,957 千円
	親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	90,031 千円	△45,163 千円	120,104 千円
	1 株当たり連結当期純利益(円)	18.96 円	△9.51 円	25.29 円
	1 株 当 たり 配 当 金 (円)	0.00 円	0.00 円	0.00 円

※ ZUU は、東京証券取引所グロース市場に上場しており、ZUU が東京証券取引所に提出したコーポレート・ガバナンスに関する報告書（最終更新日、2025 年 6 月 30 日）の「IV 内部統制システム等に関する事項」「2. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況」において、反社会的勢力排除に

に向けた基本的な考え方及びその整備状況が記載されており、当社において、当該内容及び基本的な方針を確認しております。

②MFTrustLead

①	名 称	株式会社 MFTrustLead
②	所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 18-4 二宮ビル 1 F-51
③	代表者の役職・氏名	代表取締役 福井康夫
④	事 業 内 容	・ 企業経営及び企業提携戦略の構築に関するコンサルティング ・ フランチャイズ事業及びその経営に関するコンサルティング ・ 店舗営業及び店舗経営に関するコンサルティング ・ 各種金融商品の運用、投資、売買及び保有 ・ 不動産の売買および保有
⑤	資 本 金	1000 万円
⑥	設 立 年 月 日	2024 年 3 月 15 日
⑦	発 行 済 株 式 数	200 株
⑧	決 算 期	12 月
⑨	従 業 員 数	4 人
⑩	主 要 取 引 先	深圳百果园实业（集团）股份有限公司
⑪	主 要 取 引 銀 行	みずほ銀行
⑫	大株主及び持株比率	福井康夫 100%
⑬	当 事 会 社 間 の 関 係	
	資 本 関 係	当社株式 80,000 株を保有しております。
	人 的 関 係	該当事項ありません。
	取 引 関 係	該当事項ありません。
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項ありません。
⑭	最近 3 年間の経営成績及び財政状態	
	決算期	2024 年 12 月期
	純 資 産	△1,736,749 円
	総 資 産	189,086,217 円
	1 株 当 たり 純 資 産 (円)	△8,684
	売 上 高	14,503,741 円
	営 業 利 益	△11,689,319 円
	経 常 利 益	△11,683,933 円
	親 会 社 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益	△11,736,749 円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	△58,684
	1 株 当 たり 配 当 金 (円)	0

※ 当社は、割当予定先である MFTrustLead について、反社会的勢力等と何らかの関係を有していないかを確認するため、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切の関係がない旨の誓約書の提出を受けております。

さらに、MFTrustLead について、反社会的勢力であるか否か、並びに MFTrustLead が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、第三者機関である株式会社 TMR（住所：東京都千代田区神田錦町一丁目 19 番 1 号、代表取締役社長：高橋 新治）（以下「調査会社」といいます。）に調査を依頼しました。そして、同社の保有するデータベースとの照合等による調査を行った結果、2025 年 10 月 6 日において、当該割当予定先に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。

以上から総合的に判断し、当社は MFTrustLead については、反社会的勢力との関係がないものと判断し、反社会的勢力との関係がないことを示す確認書を取引所に提出しております。

③高桑氏

① 氏 名	高桑昌也		
② 住 所	東京都港区		
③ 職 業 の 内 容	公認会計士 適格機関投資家		
④ 上場会社と当該個人間の関係	資 本 関 係	該当事項ありません。	
	人 的 関 係	該当事項ありません。	
	取 引 関 係	該当事項ありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項ありません。	

※ 当社は、割当予定先である高桑氏について、反社会的勢力等と何らかの関係を有していないかを確認するため、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切の関係がない旨の誓約書の提出を受けております。

さらに高桑氏について、反社会的勢力であるか否か、並びに高桑氏が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、調査会社に調査を依頼しました。そして、同社の保有するデータベースとの照合等による調査を行った結果、2025 年 10 月 28 日において、高桑氏に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。

以上から総合的に判断し、当社は高桑氏については、反社会的勢力との関係がないものと判断し、反社会的勢力との関係がないことを示す確認書を取引所に提出しております。

④Tan 氏

① 氏 名	Tan U -Ming		
② 住 所	Kuala Lumpur, Malaysia		
③ 職 業 の 内 容	会社役員		
④ 上場会社と当該個人間の関係	資 本 関 係	該当事項ありません。	
	人 的 関 係	該当事項ありません。	
	取 引 関 係	該当事項ありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項ありません。	

※ 当社は、割当予定先である Tan 氏について、反社会的勢力等と何らかの関係を有していないかを確認するため、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切の関係がない旨の誓約書の提出を受けております。

さらに Tan 氏について、反社会的勢力であるか否か、並びに Tan 氏が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、調査会社に調査を依頼しました。そして、同社の保有するデータベースとの照合等による調査を行った結果、2025 年 10 月 6 日において、当該割当予定先に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。

以上から総合的に判断し、当社は Tan 氏については、反社会的勢力との関係がないものと判断し、反社会的勢力との関係がないことを示す確認書を取引所に提出しております。

⑤吉田氏

① 氏 名	吉田 直人		
② 住 所	Raffles Ave., Singapore		
③ 職 業 の 内 容	会社役員		
④ 上場会社と当該個人間の関係	資 本 関 係	該当事項ありません。	
	人 的 関 係	該当事項ありません。	
	取 引 関 係	該当事項ありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項ありません。	

※ 当社は、割当予定先である吉田氏について、反社会的勢力等と何らかの関係を有していないかを確認するため、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切の関係がない旨の誓約書の提出を受けております。

さらに、吉田氏について、反社会的勢力であるか否か、並びに吉田氏が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、調査会社に調査を依頼しました。そして、同社の保有するデータベースとの照合等による調査を行った結果、2025 年 10 月 6 日、吉田氏に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。

以上から総合的に判断し、当社は吉田氏については、反社会的勢力との関係がないものと判断し、反社会的勢力との関係がないことを示す確認書を取引所に提出しております。

⑥西川氏

① 氏 名	西川 中		
② 住 所	Robertson Quay, Singapore		
③ 職 業 の 内 容	投資家		
④ 上場会社と当該個人間の関係	資 本 関 係	該当事項ありません。	
	人 的 関 係	該当事項ありません。	
	取 引 関 係	該当事項ありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項ありません。	

※ 当社は、割当予定先である西川氏について、反社会的勢力等と何らかの関係を有していないかを確認するため、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切の関係がない旨の誓約書の提出を受けております。

さらに、西川氏について、反社会的勢力であるか否か、並びに西川氏が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、調査会社に調査を依頼しました。そして、同社の保有するデータベースとの照合等による調査を行った結果、2025 年 10 月 6 日、西川氏に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。

以上から総合的に判断し、当社は西川氏については、反社会的勢力との関係がないものと判断し、反社会的勢力との関係がないことを示す確認書を取引所に提出しております。

⑦渡邊氏

① 氏 名	渡邊 涼一		
② 住 所	北海道札幌市		
③ 職 業 の 内 容	投資家		
④ 上場会社と当該個人間の関係	資 本 関 係	該当事項ありません。	
	人 的 関 係	該当事項ありません。	
	取 引 関 係	該当事項ありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項ありません。	

※ 当社は、割当予定先である渡邊氏について、反社会的勢力等と何らかの関係を有していないかを確認するため、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切の関係がない旨の誓約書の提出を受けております。

さらに、渡邊氏について、反社会的勢力であるか否か、並びに渡邊氏が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、調査会社に調査を依頼しました。そして、同社の保有するデータベースとの照合等による調査を行った結果、2025 年 10 月 6 日、渡邊氏に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。

以上から総合的に判断し、当社は渡邊氏については、反社会的勢力との関係がないものと判断し、反社会的勢力との関係がないことを示す確認書を取引所に提出しております。

⑧大久保氏

① 氏 名	大久保 義春	
② 住 所	Robertson Quay, Singapore	
③ 職 業 の 内 容	会社役員	
④ 上場会社と当該個人間の関係	資 本 関 係	該当事項ありません。
	人 的 関 係	該当事項ありません。
	取 引 関 係	Web3 イベントに参加するにあたりガイド役を依頼するため、2025 年 9 月 16 日に業務委託契約を締結しております。
	関連当事者への該当状況	該当事項ありません。

※ 当社は、割当予定先である大久保氏について、反社会的勢力等と何らかの関係を有していないかを確認するため、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切の関係がない旨の誓約書の提出を受けております。

さらに、大久保氏について、反社会的勢力であるか否か、並びに大久保氏が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、調査会社に調査を依頼しました。そして、同社の保有するデータベースとの照合等による調査を行った結果、2025 年 10 月 6 日、大久保氏に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。

以上から総合的に判断し、当社は大久保氏については、反社会的勢力との関係がないものと判断し、反社会的勢力との関係がないことを示す確認書を取引所に提出しております。

⑨村田氏

① 氏 名	村田 啓	
② 住 所	Cairnhill Circle, Singapore	
③ 職 業 の 内 容	Monterey Capital Management CEO	
④ 上場会社と当該個人間の関係	資 本 関 係	該当事項ありません。
	人 的 関 係	該当事項ありません。
	取 引 関 係	該当事項ありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項ありません。

※ 当社は、割当予定先である村田氏について、反社会的勢力等と何らかの関係を有していないかを確認するため、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切の関係がない旨の誓約書の提出を受けております。

さらに、村田氏について、反社会的勢力であるか否か、並びに村田氏が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、調査会社に調査を依頼しました。そして、同社の保有するデータベースとの照合等による調査を行った結果、2025 年 10 月 6 日、村田氏に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。

以上から総合的に判断し、当社は村田氏については、反社会的勢力との関係がないものと判断し、反社会的勢力との関係がないことを示す確認書を取引所に提出しております。

⑩寺田氏

① 氏 名	寺田 航平	
② 住 所	東京都渋谷区	
③ 職 業 の 内 容	会社役員	
④ 上場会社と当該個人間の関係	資 本 関 係	当社株式 39,000 株を保有しております。
	人 的 関 係	該当事項ありません。
	取 引 関 係	該当事項ありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項ありません。

※ 当社は、割当予定先である寺田氏について、反社会的勢力等と何らかの関係を有していないかを確認するため、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切の関係がない旨の誓約書の提出を受けて

おります。

さらに、寺田氏について、反社会的勢力であるか否か、並びに寺田氏が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、調査会社に調査を依頼しました。そして、同社の保有するデータベースとの照合等による調査を行った結果、2025 年 10 月 6 日、寺田氏に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。

以上から総合的に判断し、当社は寺田氏については、反社会的勢力との関係がないものと判断し、反社会的勢力との関係がないことを示す確認書を取引所に提出しております。

⑪森氏

① 氏 名	森 和孝		
② 住 所	Bedok North Drive, Singapore		
③ 職 業 の 内 容	弁護士		
④ 上場会社と当該個人間の関係	資 本 関 係	該当事項ありません。	
	人 的 関 係	該当事項ありません。	
	取 引 関 係	該当事項ありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項ありません。	

※ 当社は、割当予定先である森氏について、反社会的勢力等と何らかの関係を有していないかを確認するため、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切の関係がない旨の誓約書の提出を受けております。

さらに、森氏について、反社会的勢力であるか否か、並びに森氏が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、調査会社に調査を依頼しました。そして、同社の保有するデータベースとの照合等による調査を行った結果、2025 年 10 月 6 日、森氏に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。

以上から総合的に判断し、当社は森氏については、反社会的勢力との関係がないものと判断し、反社会的勢力との関係がないことを示す確認書を取引所に提出しております。

(2)割当予定先を選定した理由

① ZUU

ZUU の代表取締役である富田和成氏と当社の取締役である中村壮秀が 10 年ほど前からの旧知の仲であり、事業について情報交換・協議を重ねてきました。その協議を重ねる中で、同社が金融・投資情報を提供するメディアを運営し、国内外の経営者・投資家ネットワークへのアクセスに強みを有しており、当社が計画している「クリプト領域イネーブラー事業」を実現することを目的とする本第三者割当にふさわしいと考え、中村より本第三者割当を打診いたしました。その結果、本第三者割当を行う点にご賛同いただいたため、選定いたしました。

② MFTrustLead

MFTrustLead の代表取締役である福井康夫氏は、当社の取締役である中村壮秀が前職の時の 24 年前からの旧知の仲です。福井康夫氏は上場企業経営に関する知見及び事業推進ネットワークを有しており、当社が計画している「クリプト領域イネーブラー事業」を実現することを目的とする本第三者割当にふさわしいと考え、中村より本第三者割当を打診いたしました。その結果、本第三者割当を行う点にご賛同いただいたため、選定いたしました。

③ 高桑氏

高桑氏と当社の取締役である中村壮秀が旧知の仲であり、高桑氏は会計・税務・ガバナンス実務に関する専門性を有しており、特に暗号資産／ブロックチェーン技術に係る会計・税務・ガバナンス実務にも精通しており、当社が計画している「クリプト領域イネーブラー事業」を実現することを目的とする本

第三者割当にご賛同いただけるのではないかと考え、中村より高桑氏に本第三者割当を打診いたしました。その結果、本第三者割当を行う点にご賛同いただいたため、選定いたしました。

④ Tan 氏

Tan 氏は2025年7月頃に大久保氏より紹介を受け、その後の情報交換の過程で当社の取締役である中村壮秀より Tan 氏に本第三者割当を打診いたしました。Tan 氏はASEAN 圏における産業・金融ネットワークを有しており、当社の新規事業の研究開発や将来的な共同プロジェクトの検討における海外連携の拡大等にかかる知見を有しているため、当社が計画している「クリプト領域イネーブラー事業」を実現することを目的とする本第三者割当にご賛同いただけるのではないかと考え、中村より Tan 氏に本第三者割当を打診いたしました。その結果、本第三者割当を行う点にご賛同いただいたため、選定いたしました。

⑤ 吉田氏

吉田氏と当社の取締役である中村壮秀が5年ほど前からの旧知の仲であり、その後、定期的に情報交換を行っておりました。同氏はクリプト領域の事業運営経験と Web3 関連の先行知見を有しており、当社の新規事業開発（オンチェーン・データの活用、インセンティブ設計等）の調査・実証にかかる知見を有すると判断しており、情報交換の過程で当社が計画している「クリプト領域イネーブラー事業」を実現すること及び本第三者割当を行うことを伝え、中村より吉田氏に本第三者割当を打診いたしました。その結果、本第三者割当を行う点にご賛同いただいたため、選定いたしました。

⑥ 西川氏

西川氏と当社の取締役である中村壮秀が旧知の仲であり、同氏は、クリプトに関する深い知見と、グローバルな業界ネットワークへのアクセスを有し、当社の研究開発（特にオンチェーン・データ活用やステーブルコイン／RWA 連携）についても造詣が深く、当社が計画している「クリプト領域イネーブラー事業」を実現することを目的とする本第三者割当にご賛同いただけるのではないかと考え、中村より西川氏に本第三者割当を打診いたしました。その結果、本第三者割当を行う点にご賛同いただいたため、選定いたしました。

⑦ 渡邊氏

渡邊氏は2025年6月頃に大久保氏より紹介を受けました。渡邊氏は暗号資産分野における技術的知見と業界ネットワークを有し、当社のプロダクト検討（オンチェーンデータ活用、ステーブル送金、カスタディ連携等）に関して知見を有しております。そして、情報交換の過程で当社が計画している「クリプト領域イネーブラー事業」を実現することを目的とする本第三者割当を行う点にご賛同いただけると考え、中村より渡邊氏に本第三者割当を打診いたしました。その結果、本第三者割当を行う点にご賛同いただいたため、選定いたしました。

⑧ 大久保氏

大久保氏は当社の取締役である中村壮秀と約2年前に中村が東南アジア事業を模索する過程で知り合いました。大久保氏はシンガポールに在住しており、海外投資家・スタートアップとの接点構築に強みを持っております。中村が大久保氏と定期的に情報交換を行う中で渡邊氏及び Tan 氏の紹介を受け、その後、情報交換の過程で、当社が掲げる「海外との連携を強め、最新技術を日本企業・アジアへ橋渡しする」方針の実行加速にもご理解いただけるのではないかと考え、中村より大久保氏に本第三者割当を打診いたしました。その結果、本第三者割当を行う点にご賛同いただいたため選定いたしました。

⑨ 村田氏

村田氏と当社の取締役である中村壮秀が3年ほど前からの旧知の仲であり、その後、定期的に情報交換を行っておりました。同氏はグローバル金融・運用領域の知見に加え、デジタルアセット運用に関する

最先端の実務知を持つネットワークにもアクセスを有しており、情報交換の過程で当社が計画している「クリプト領域イネーブラー事業」を実現すること及び本第三者割当を行うことを伝え、中村より村田氏に本第三者割当を打診いたしました。その結果、本第三者割当を行う点にご賛同いただいたため選定いたしました。

⑩ 寺田氏

寺田氏と当社の取締役である中村壮秀が22年ほど前からの旧知の仲であり、定期的に経営・事業について情報交換を行っており、その過程で中村より寺田氏に本第三者割当を打診いたしました。RWA（Real World Assets：実体資産のトークン化）の社会実装が加速するという当社の事業前提に照らし、寺田氏は「実体資産」（不動産・債権・在庫等のトークン化、権利移転・決済のスマートコントラクト運用等）におけるオンチェーン化について相談できる相手であり、当社が計画している「クリプト領域イネーブラー事業」を実現することを目的とする本第三者割当を行う点にご賛同いただけるのではないかと考え、中村より寺田氏に本第三者割当を打診いたしました。その結果、本第三者割当を行う点にご賛同いただいたため、選定いたしました。

⑪ 森氏

森氏は以前、当社の取締役である中村壮秀が役員を務めていた当社子会社の顧問弁護士でありましたが、顧問契約終了後も定期的に中村が森氏と情報交換をしておりました。同氏は国内外の法務・規制論点に関する専門知見を有し、デジタルアセット活用に係る契約実務・コンプライアンス体制の整備を含む実務検討の質的向上に関する知見を有すると判断しており、当社が計画している「クリプト領域イネーブラー事業」を実現することを目的とする本第三者割当にご賛同いただけるのではないかと考え、中村より森氏に本第三者割当を打診いたしました。その結果、本第三者割当を行う点もご賛同いただいたため、選定いたしました。

(3) 割当予定先の保有方針

①ZUU

当社は、割当予定先が、本第三者割当の趣旨に鑑み、本第三者割当により取得する当社株式を中期的に保有する方針を口頭で確認しております。また、本新株式が発行された日から2年間に於いて当該本新株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東証へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を取得する予定です。

②MFTrustLead

当社は、割当予定先が、本第三者割当の趣旨に鑑み、本第三者割当により取得する当社株式を中長期的に保有する方針を口頭で確認しております。また、本新株式が発行された日から2年間に於いて当該本新株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東証へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を取得する予定です。

③高桑氏

当社は、割当予定先が、本第三者割当の趣旨に鑑み、本第三者割当により取得する当社株式を中長期的に保有する方針を口頭で確認しております。また、本新株式が発行された日から2年間に於いて当該本新株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東証へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を取得する予定です。

④Tan氏

当社は、割当予定先が、本第三者割当の趣旨に鑑み、本第三者割当により取得する当社株式を中長期的に保有する方針を口頭で確認しております。また、本新株式が発行された日から2年間に於いて当該本新株式の

全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東証へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を取得する予定です。

⑤吉田氏

当社は、割当予定先が、本第三者割当の趣旨に鑑み、本第三者割当により取得する当社株式を中長期的に保有する方針を口頭で確認しております。また、本新株式が発行された日から2年間に於いて当該本新株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東証へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を取得する予定です。

⑥西川氏

当社は、割当予定先が、本第三者割当の趣旨に鑑み、本第三者割当により取得する当社株式を中長期的に保有する方針を口頭で確認しております。また、本新株式が発行された日から2年間に於いて当該本新株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東証へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を取得する予定です。

⑦渡邊氏

当社は、割当予定先が、本第三者割当の趣旨に鑑み、本第三者割当により取得する当社株式を中長期的に保有する方針を口頭で確認しております。また、本新株式が発行された日から2年間に於いて当該本新株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東証へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を取得する予定です。

⑧大久保氏

当社は、割当予定先が、本第三者割当の趣旨に鑑み、本第三者割当により取得する当社株式を中長期的に保有する方針を口頭で確認しております。また、本新株式が発行された日から2年間に於いて当該本新株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東証へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を取得する予定です。

⑨村田氏

当社は、割当予定先が、本第三者割当の趣旨に鑑み、本第三者割当により取得する当社株式を中長期的に保有する方針を口頭で確認しております。また、本新株式が発行された日から2年間に於いて当該本新株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東証へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を取得する予定です。

⑩寺田氏

当社は、割当予定先が、本第三者割当の趣旨に鑑み、本第三者割当により取得する当社株式を中長期的に保有する方針を口頭で確認しております。また、本新株式が発行された日から2年間に於いて当該本新株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東証へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を取得する予定です。

⑪森氏

当社は、割当予定先が、本第三者割当の趣旨に鑑み、本第三者割当により取得する当社株式を中長期的に保有する方針を口頭で確認しております。また、本新株式が発行された日から2年間に於いて当該本新株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東証へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を取得する予定です。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

① ZUU

当社は、ZUU が 2025 年 8 月 14 日付で公表している「2026 年 3 月期第 1 四半期決算短信」に記載の連結貸借対照表により、同社が本第三者割当の払込みに要する十分な現預金及びその他流動資産を保有していることを確認し、当社としても、同社における本第三者割当増資の払込みのために必要な資金等の状況に問題はないものと判断しております。

② MFTrustLead

当社は、MFTrustLead の資産残高を銀行口座の残高証明書（2025 年 10 月 27 日時点）により確認し、本新株式の払込みのために必要かつ十分な資金を保有していることを確認しております。そのため、MFTrustLead に割り当てられる本新株式に係る払込みに必要な資金は十分であると判断しております。

③ 高桑氏

当社は、高桑氏の資産残高を銀行口座の預金通帳（2025 年 10 月 27 日時点）により確認し、本新株式の払込みのために必要かつ十分な資金を保有していることを確認しております。そのため、高桑氏に割り当てられる本新株式に係る払込みに必要な資金は十分であると判断しております。

④ Tan 氏

当社は、Tan 氏の資産残高を銀行口座の残高証明書（2025 年 10 月 27 日時点）により確認し、本新株式の払込みのために必要かつ十分な資金を保有していることを確認しております。そのため、Tan 氏に割り当てられる本新株式に係る払込みに必要な資金は十分であると判断しております。

⑤ 吉田氏

当社は、吉田氏の資産残高を銀行口座の預金通帳（2025 年 11 月 4 日時点）により確認し、本新株式の払込みのために必要かつ十分な資金を保有していることを確認しております。そのため、吉田氏に割り当てられる本新株式に係る払込みに必要な資金は十分であると判断しております。

⑥ 西川氏

当社は、西川氏の資産残高を銀行口座の預金通帳（2025 年 10 月 28 日時点）により確認し、本新株式の払込みのために必要かつ十分な資金を保有していることを確認しております。そのため、西川氏に割り当てられる本新株式に係る払込みに必要な資金は十分であると判断しております。

⑦ 渡邊氏

当社は、渡邊氏の資産残高を銀行口座の残高証明書（2025 年 10 月 17 日時点）により確認し、本新株式の払込みのために必要かつ十分な資金を保有していることを確認しております。そのため、渡邊氏に割り当てられる本新株式に係る払込みに必要な資金は十分であると判断しております。

⑧ 大久保氏

当社は、大久保氏の保有財産の裏付けとなるブローカーの 2025 年 11 月 4 日時点における現金・有価証券等を確認し、本新株式の払込みのために必要かつ十分な資金を保有していることを確認しております。そのため、大久保氏に割り当てられる本新株式に係る払込みに必要な資金は十分であると判断しております。

⑨ 村田氏

当社は、村田氏の資産残高を銀行口座の残高証明書（2025 年 10 月 29 日時点）により確認し、本新株式の払込みのために必要かつ十分な資金を保有していることを確認しております。そのため、村田氏に割り当てられる本新株式に係る払込みに必要な資金は十分であると判断しております。

⑩ 寺田氏

当社は、寺田氏の資産残高を銀行口座の預金通帳（2025 年 10 月 30 日時点）により確認し、本新株式の払込みのために必要かつ十分な資金を保有していることを確認しております。そのため、寺田氏に割り当てられる本新株式に係る払込みに必要な資金は十分であると判断しております。

⑪ 森氏

当社は、森氏の資産残高を銀行口座の預金通帳（2025 年 11 月 5 日時点）により確認し、本新株式の払込みのために必要かつ十分な資金を保有していることを確認しております。そのため、森氏に割り当てられる本新株式に係る払込みに必要な資金は十分であると判断しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

本第三者割当増資前		本第三者割当増資後	
中村壮秀	33.84%	中村壮秀	30.23%
木下政弘	3.87%	木下政弘	3.46%
株式会社 SBI 証券	3.67%	株式会社 SBI 証券	3.28%
合同会社 MN カンパニー	1.76%	株式会社 ZUU	1.65%
アライドアーキテクト従業員持株会	1.70%	西川中	1.65%
日本証券金融株式会社	1.53%	渡邊涼一	1.65%
和田孝行	1.50%	合同会社 MN カンパニー	1.57%
楽天証券株式会社	0.98%	アライドアーキテクト従業員持株会	1.52%
モルガン・スタンレーMUFG 証券株式会社	0.93%	日本証券金融株式会社	1.37%
駒瀬丈郎	0.85%	和田孝行	1.34%

- (注) 1. 本第三者割当増資前の持株比率は、2025年6月30日時点の株主名簿に基づき記載しております。
なお、中村壮秀氏の本第三者割当増資前及び本第三者割当増資後の持株比率は、実質所有者を確認できたため同氏が株式会社日本カストディ銀行に信託している900,000株を含めた実質所有株式数を記載しております。その他の株主については、株主名簿の記載通りに記載しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入しております。

8. 今後の見通し

今回の調達資金を、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」に記載の使途に充当することによって、2025 年 12 月期連結業績に与える影響は軽微であります、開示の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

9. 企業行動規範上の手続に関する事項

本第三者割当は、①希薄化率が 25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第 432 条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1)最近3年間の業績（連結）

決算期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
売上高（千円）	4,466,852	4,058,007	3,463,714
営業利益又は営業損失（△）（千円）	1,016,787	146,606	△459,826
経常利益又は経常損失（△）（千円）	963,015	207,473	△386,845
親会社株主に帰属する当期純利益又は 当期純損失（△）（千円）	696,573	△248,967	△516,291
1株当たり当期純利益又は1株当たり 当期純損失（△）（円）	49.24	△17.53	△36.33
1株当たり配当金（円）	—	—	—
1株当たり純資産額（円）	215.07	196.82	168.00

（2）現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（2025年6月30日現在）

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	14,248,282 株	100%
現時点の転換価額（行使価額） における潜在株式数	716,000 株	5.03%
下限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	—	—
上限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	—	—

（注） 上記潜在株式数は、第18回新株予約権、第19回新株予約権及び第20回新株予約権によるものです。

（3）最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
始 値	860 円	1,228 円	455 円
高 値	1,469 円	1,460 円	479 円
安 値	569 円	272 円	140 円
終 値	1,258 円	465 円	162 円

（注） 各株価は、東京証券取引所におけるものであります。

② 最近6か月間の状況

	2025年 6月	7月	8月	9月	10月	11月
始 値	243 円	238 円	238 円	225 円	213 円	206 円
高 値	346 円	254 円	248 円	246 円	266 円	215 円
安 値	207 円	200 円	212 円	213 円	201 円	197 円
終 値	237 円	239 円	227 円	216 円	206 円	212 円

（注） 1. 各株価は、東京証券取引所におけるものであります。

2. 2025年11月の株価については、2025年11月13日現在で表示しております。

③ 発行決議日前営業日における株価

	2025 年 11 月 13 日
始 値	212 円
高 値	213 円
安 値	210 円
終 値	212 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項ありません。

11. 発行要項

(1) 募集株式の種類及び株	普通株式 1,651,200 株
(2) 募集株式 1 株当たりの 払 込 金 額	金 191 円
(3) 払 込 金 額 の 総 額	315,379,200 円
(4) 増加する資本金の額	157,689,600 円
(5) 増加する資本準備金の額	157,689,600 円
(6) 募 集 又 は 割 当 方 法	第三者割当の方法によります。
(7) 割 当 先	株式会社 ZUU 261,700 株 株式会社 MFTrustLead 157,000 株 高桑昌也 157,000 株 Tan U -Ming 91,600 株 吉田直人 157,000 株 西川中 261,700 株 渡邊涼一 261,700 株 大久保義春 104,700 株 村田啓 157,000 株 寺田航平 20,900 株 森和孝 20,900 株
(8) 申 込 期 日	2025 年 12 月 1 日
(9) 払 込 期 日	2025 年 12 月 1 日
(10) 払 込 取 扱 場 所	三菱 UFJ 銀行 品川駅前支店
(11) そ の 他	前各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とします。 その他本新株式発行に関し必要な事項は、当社代表取締役会長に一任します。